

清涼飲料のヒットとともに普及した自動販売機

登録番号	第 00186 号		
登録年月日	平成27年9月15日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	ボトル用自動販売機SVM-48		
所在地	大阪府大東市		
	三洋電機株式会社		
所有者 (管理者)	パナソニック株式会社 歴史文化コミュニケーション室		
製作者(社)	三洋電機株式会社		
製作年	1968年		
初出年	1965年		
選定理由	立てて収納されたビンをコインを入れて手で引き抜く、半自動式の水平ラック飲料販売機である。手動式であった米国製の自販機をモデルに、短時間で飲み頃に冷やす機能や霜対策を施すなど、日本向けの改良を施して発売された。ビンの収納本数は少なくなるものの、小型で移動が容易、ショーケース的な視認性を有し、機構の単純さから保守管理もしやすいなどの特徴を持ち、かつ廉価であったことから、日本のコカ・コーラシステムの『看板代わり』の販売ツールとして採用され、爆発的に普及した。自販機発展の一段階を示すものとして重要である。		
登録基準	一ーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの)		

公開・非公開	非公開
--------	-----

写 真



その他参考となるべき事項	
--------------	--